

# 学生の音楽嗜好・楽曲受容の調査と楽曲鑑賞に関する研究（1）

## A Study about Musical Piece Appreciation, Musical Taste and the Reception of Musical Pieces by Students（1）

（2009年3月31日受理）

太田正清

Masakiyo Ota

Key words : 音楽嗜好調査, 楽曲受容調査, 楽曲鑑賞

### 要 旨

小学校学習指導要領音楽科の目標<sup>1)</sup>は「表現及び鑑賞の活動を通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育てるとともに、音楽活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う」である。中学校<sup>2)</sup>はといえば「表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、豊かな情操を養う」である。小学校音楽科、中学校音楽科は同じところをねらっており、義務教育を終えた人たちは世界の音楽を楽しむ豊かな心が育っているはずである。しかし、講座で行った音楽嗜好調査と楽曲受容調査からは義務教育で行った音楽科の授業では必ずしも学習指導要領がねらった域まで達したとは言い難いようだ。誰にでもできる行為、楽曲を聴き、鑑賞するという。できれば、誰をも世界の音楽に親しませたい。

### 1. 音楽嗜好調査

平成20年度子ども学部入学前期芸術履修生の音楽嗜好調査（どのジャンルの音楽を好むかの調査）を平成20年4月15日に実施した。データを入手できたのは男子学生12名、女子学生36名であった。下表の音楽ジャンルから好きなもの第1位から第10位を記述させた。

表1 音楽嗜好調査<sup>3)</sup> (84ジャンル)

歌謡曲, 演歌, 日本民謡, 映画音楽, フォーク・ソング, 最近のポピュラーソング, ニュー・ミュージック, 浪曲, ロック, ポップス調歌謡曲, 交響曲, 管弦楽曲, 協奏曲, 吹奏楽, コマーシャル, テレビ漫画主題歌, 童謡, テレビドラマ主題歌, スタンダードナンバーになった軍歌, ポピュラーソング, ムード音楽, 現代音楽, イージーリスニング, 和製フォーク, ディスコ, 唱

歌, 行進曲, 日本歌曲, タンゴ, ミュージカル, モダンジャズ, ロシア民謡, シャンソン, 校歌, 寮歌, 応援歌, 声楽曲, 合唱曲, 室内楽曲, 器楽曲, 和製ロック, ラテン音楽, テクノポップス, スイングジャズ, ソウル, 小唄, 端唄, 俗曲, イメージソング, カントリー, 詩吟, 朗詠, 琵琶, ブルーグラス, リズムアンドブルース, アメリカ民謡, ハワイアン, ポリネシア音楽, デキシードジャズ, 歌劇, バロック音楽, イタリア民謡, 外国民謡, 民族音楽, 長唄, 常磐津, 清元, 新内, 古曲, イギリス民謡, フェュージョン, クロスオーバー, 賛美歌, 箏曲, 地唄, 尺八, カンツォーネ, 謡曲, フレンチポップス, 舞楽, 雅楽, 労働歌, 文楽, 義太夫

### 2. 音楽嗜好調査の結果

男子学生、女子学生別の好きな音楽ベスト3を図示した。グラフ数字は%で表した。

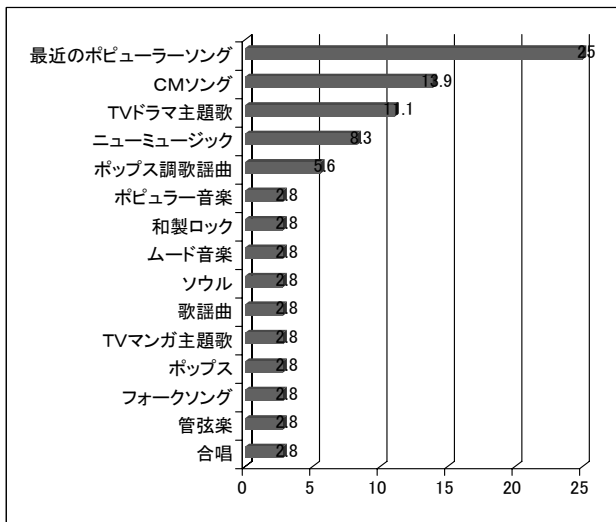


図1 好きな音楽（男子学生）

今回の調査では、音楽（楽曲）を聴く媒体に関しては調べているわけではないが、結果から推測される音楽を聴く媒体はテレビと思われる。男子学生の大半はテレビを通して音楽（楽曲）鑑賞を楽しんでおり、また、その音楽（楽曲）も殆どがポピュラー音楽である。学校音楽教育（音楽の授業）の成果は大変希薄のようである。

次に女子学生の様子を図示する。

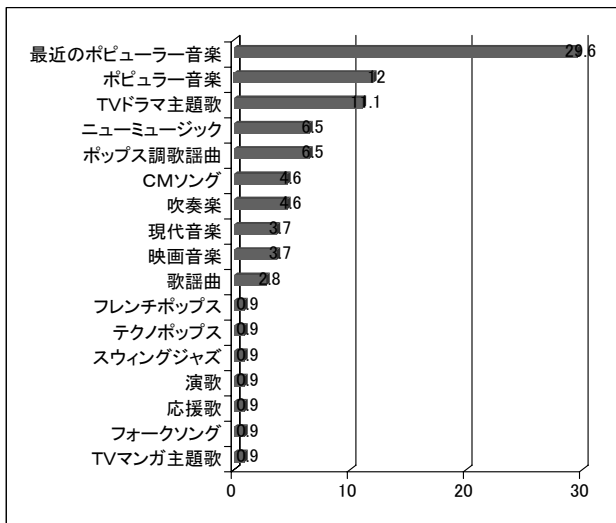


図2 好きな音楽（女子学生）

女子学生も男子学生と似た傾向を示した。好きな音楽の大半はポピュラー音楽である。ただ一つ吹奏楽が入った。数字は4.6%とわずかではある。学校音楽教育の成果が女子学生にはあるようだ。岡山県の場合であるが、中学校、高等学校と吹奏楽が盛んである。しかし、中学

校、高等学校男女共学校とも吹奏楽部員の大半は女子生徒である。中には女子部員ばかりの学校も相当数含まれている。

何故、このように女子ばかりが音楽活動をするようになるのであろうか。筆者は平成14年6月に岡山市立H小学校6年生男子児童27名、女子児童19名に「教科の好き具合」に関する調査<sup>4)</sup>を実施した。調査教科は国語・社会・算数・理科・音楽・図工・体育・家庭の8教科。各教科について5段階で質問した。5：とても好き、4：まあ好き、3：ふつう、2：あまり好きでない、1：とても好きでない。

結果は図3である。音楽という教科は男子児童は8教科中いちばん好かれていない。方や女子児童はといえば家庭科に次いで2番目に好きな教科である。岡山県下数多い小学校の中には6学年男子児童の好きな教科に音楽科を挙げる学校もあるかもしれないが、極めて少数と思われる。

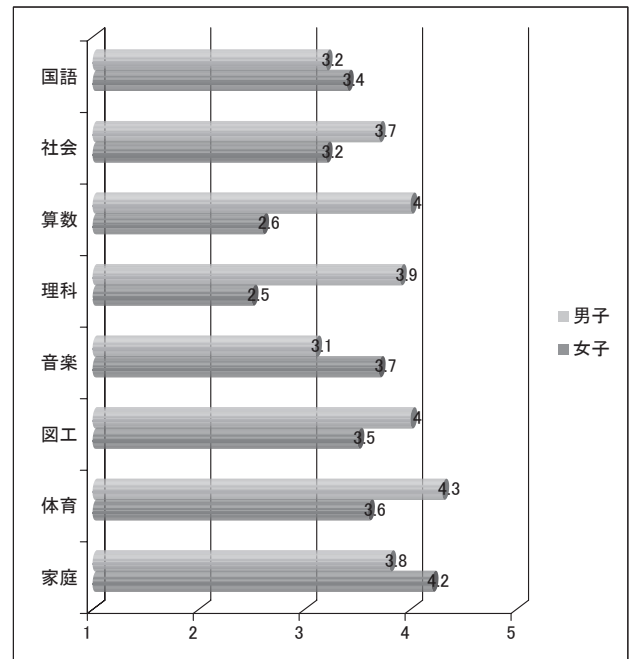


図3 小学6年生「教科の好き具合」

### 3. 楽曲受容調査

CBSソニーファミリークラブの「音のカタログー名曲ベスト100選」<sup>5)</sup>を使用して楽曲受容調査を実施した。内容は西洋クラシック楽曲（音楽）である。この曲

のさわりを学生に聴取させ、1曲ごとの嗜好を調べた。学生への問いかけは次である。

この調査は、ヨーロッパのクラシック楽曲の受容を調べるものです。1曲について40秒程度の演奏を聴いて、作品名、作曲者名を記入し、この曲は（1. 聴いたことがある 2. 聴いたことがない）この曲は（1. 聴きやすい 2. 聴きにくい）のいずれか一つを選び○で囲んでください。

表2 楽曲受容調査曲（100曲）

1)ルロイ・アンダーソン：トランペット吹きの休日 2)アイレンベルク：森の水車 3)ヘンデル：見よ勇者は帰る 4)ケテルビー：ペルシャの市場にて 5)ヘンデル：ラルゴ 6)イヴァノヴィッチ：ドナウ川のさざ波 7)ヴォルフ＝フェラーリ：マドンナの宝石 8)レハール：メリーウィドウ・ワルツ 9)ハチャトゥリアン：剣の舞 10)チャイコフスキー：「白鳥の湖」より情景 11)チャイコフスキー：「眠りの森の美女」よりワルツ 12)チャイコフスキー：「くるみ割り人形」より花のワルツ 13)スーザ：星条旗よ永遠なれ 14)ヨハン・シュトラウスI世：ラデツキー行進曲 15)ヴェルディ：アイダ大行進曲 16)ラヴェル：ボレロ 17)チャイコフスキー：大序曲「1812年」 18)グリーク：劇音楽「ペールギュント組曲」より朝 19)スメタナ：交響詩「モルダウ」 20)ドヴォルザーク：スラブ舞曲第10番 21)ビゼー：「カルメン」組曲より闘牛士 22)ビゼー：「アルルの女」組曲よりメヌエット 23)プロコフィエフ：交響的物語「ピーターと狼」より 24)サン＝サーンス：組曲「動物の謝肉祭」より白鳥 25)ショパン：プレリュード第7番 26)ショパン：ノクターン第2番 27)サティ：ジムノペディ第1番 28)ドビュッシー：アラバスク第1番 29)バダルジェフスカ：乙女の祈り 30)リスト：ラ・カンパネラ 31)サラサーテ：チゴイネルワイゼン 32)ベートーヴェン：ロマンス へ長調 33)クライスラー：愛の喜び 34)ドップラー：ハンガリー田園幻想曲 35)フォーレ：シチリアーノ 36)バッハ：トッカータとフーガ 37)タルレガ：アルハンブラ宮殿の想い

出 38)ロドリゴ：「アランフェス協奏曲」より第2楽章〈アダージョ〉 39)モーツァルト：交響曲第35番「ハフナー」～第1楽章冒頭 40)モーツァルト：交響曲第36番「リンツ」～第1楽章 41)モーツァルト：交響曲第38番「プラハ」～第1楽章 42)モーツァルト：交響曲第39番～第3楽章冒頭 43)モーツァルト：ピアノ協奏曲第20番～第2楽章冒頭 44)モーツァルト：ピアノ協奏曲第24番～第2楽章冒頭 45)モーツァルト：ヴァイオリン協奏曲第5番「トルコ風」～第3楽章冒頭 46)モーツァルト：協奏交響曲～第2楽章冒頭 47)モーツァルト：弦楽四重奏曲第17番「狩」～第1楽章冒頭 48)モーツァルト：弦楽五重奏曲ト短調K. 516～第1楽章冒頭 49)モーツァルト：フルート四重奏曲第1番～第1楽章冒頭 50)モーツァルト：「レクイエム」よりラクリモサ 51)ベートーヴェン：エリーゼのために 52)シューマン：トロイメライ 53)リスト：愛の夢 54)ショパン：ワルツ第1番「華麗なる大円舞曲」 55)ショパン：ワルツ第6番「子犬のワルツ」 56)ショパン：即興曲第4番「幻想即興曲」 57)パデレフスキー：メヌエット 58)バッハ：2つのヴァイオリンのための協奏曲～第1楽章 59)バッハ：二声のインヴェンション第1番 60)バッハ：パルティータ第1番 61)バッハ：G線上のアリア 62)ヘンデル：「水上の音楽」第1組曲～アレグロ 63)モーツァルト：交響曲第40番～第1楽章冒頭 64)モーツァルト：交響曲第41番「ジュピター」～第1楽章冒頭 65)ベートーヴェン：交響曲第3番「英雄」～第1楽章冒頭 66)ベートーヴェン：交響曲第5番「運命」～第1楽章冒頭 67)シューベルト：交響曲第8番「未完成」～第1楽章 68)ベートーヴェン：交響曲第6番「田園」～第1楽章冒頭 69)ベートーヴェン：交響曲第9番「合唱」～第4楽章「合唱」部分 70)ベルリオーズ：幻想交響曲～第2楽章「舞踏会」 71)ブラームス：交響曲第1番～第4楽章 72)ブルックナー：交響曲第4番「ロマンティック」～第1楽章 73)チャイコフスキー：交響曲第6番「悲愴」～第1楽章 74)マーラー：交響曲第1番「巨人」～第4楽章冒頭 75)ショスタコーヴィッチ：交響曲第5番「革命」～第4楽章冒頭 76)ヴィヴァ

ルディ：ヴァイオリン協奏曲「四季」～「春」第1楽章冒頭 77)モーツァルト：ピアノ協奏曲第26番「戴冠式」～第3楽章冒頭 78)モーツァルト：ピアノ協奏曲第27番～第2楽章 79)ベートーヴェン：ヴァイオリン協奏曲～第1楽章 80)メンデスゾーン：ヴァイオリン協奏曲～第1楽章冒頭 81)チャイコフスキー：ヴァイオリン協奏曲～第1楽章 82)チャイコフスキー：ピアノ協奏曲第1番～第1楽章冒頭 83)ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第2番～第3楽章 84)ショパン：ピアノ協奏曲第2番～第2楽章 85)ワーグナー：ニュルンベルクのマイスタージンガー前奏曲 86)ワーグナー：タンホイザー序曲 87)ムソルグスキー：組曲「展覧会の絵」～プロムナード 88)リヒャルト・シュトラウス：交響詩「ツァラトストラはかく語りき」 89)ホルスト：組曲「惑星」～「木星」冒頭 90)ストラヴィンスキー：バレエ「春の祭典」～第1部 91)ベートーヴェン：弦楽四重奏曲第9番「ラズモフスキー第3番」～第1楽章 92)バッハ：ゴールドベルグ変奏曲～アリア 93)ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ第8番「悲愴」～第2楽章冒頭 94)ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ第14番「月光」～第1楽章冒頭 95)ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ第23番「情熱」～第1楽章冒頭 96)ヴォーン＝ウィリアムス：グリーンズリーヴス幻想曲 97)ブラームス：ハンガリー舞曲第5番 98)ドリーヴ：「コッペリア」よりスワニルダのワルツ 99)チャイコフスキー：スラヴ行進曲 100)ワーグナー：ワルキューレの騎行

(1) 作品名の認知度

図4は男子学生の作品名認知度を示している。

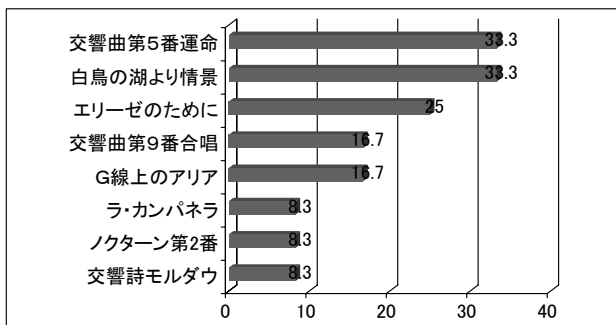


図4 男子学生の作品名認知度

男子学生では交響曲第5番「運命」第1楽章冒頭、白鳥の湖より情景の作品名を答えた者は各々4名(33.3%)であった。エリーゼのためにが3名(25%)。交響曲第9番「合唱」とG線上のアリアが各2名(16.7%)。ラ・カンパネラ、ノクターン第2番、交響詩モルダウは各1名(8.3%)であった。男子学生は12名で回答作品数はいずれの学生も100曲である。回答しなければならない箇所は1,200である。男子学生は延べ18箇所まで正答している。割合からすれば1.5%であった。

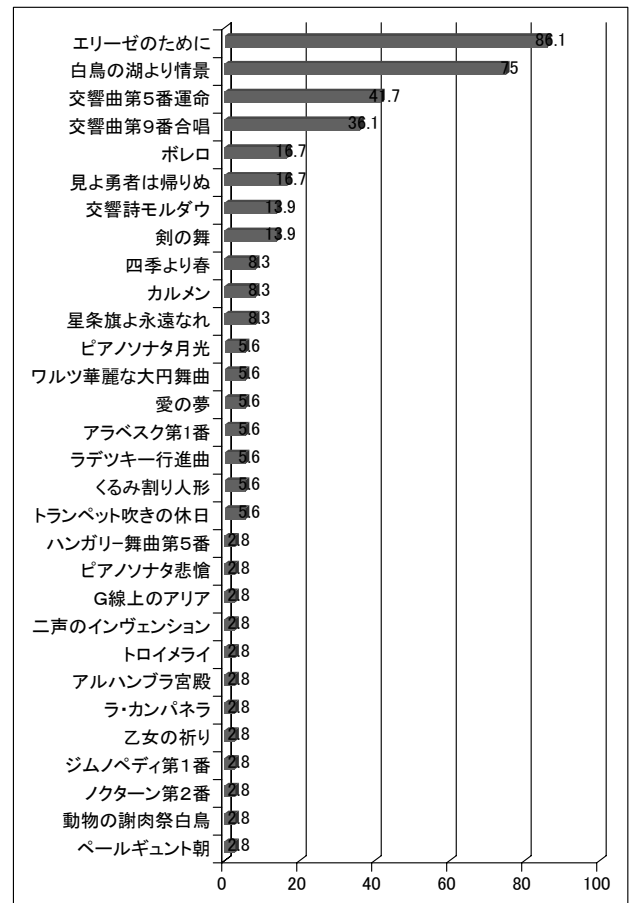


図5 女子学生の作品名認知度

一方、女子学生の作品認知度は図5である。エリーゼのためにを答えた者は31名(86.1%)。白鳥の湖より情景は27名(75%)。交響曲第5番運命15名(41.7%)。交響曲第9番合唱13名(36.1%)。ボレロ、見よ勇者は帰りぬは各6名(16.7%)。交響詩モルダウ、剣の舞は各5名(13.9%)。カルメン、星条旗よ永遠なれは各3名(8.3%)。ピアノ・ソナタ月光、ワルツ華麗な大円舞曲、愛の夢、アラベスク第1番、ラデツキー行進曲、くるみ

割り人形、トランペット吹きの日日は各2名（5.6%）。ハンガリー舞曲第5番、ピアノ・ソナタ悲愴、G線上のアリア、二声のインヴェンション、トロイメライ、アルハンブラ宮殿の思い出、ラ・カンパネラ、乙女の祈り、ジムノペディ第1番、ノクターン第2番、動物の謝肉祭白鳥、パールギェント朝は各1名（2.8%）。女子学生は36名で回答作品数はいずれの学生も100曲である。回答しなければならない箇所は100曲である。回答しなければならない箇所は3,600である。女子学生は延べ143箇所正答している。割合からすれば4.0%であった。

男子学生の正答率が1.5%、女子学生の正答率が4.0%、女子学生は男子学生の正答率の2.67倍である。

今ひとつ女子学生にのみみられた誤回答があった。それは36の「トッカータとフーガニ短調」を「運命」と勘違いしてしまったことである。この誤回答を出した女子学生は14名（38.9%）であった。

（2） 作曲者名の認知度

男子学生の作曲者名認知度第1位は作品66のベートーヴェンであり、その数4名（33.3%）であった。第2位は作品51で、またもベートーヴェンであり、その数3名（25%）であった。第3位もベートーヴェンであり、その数2名（16.7%）であった。第4位は4作品あった。

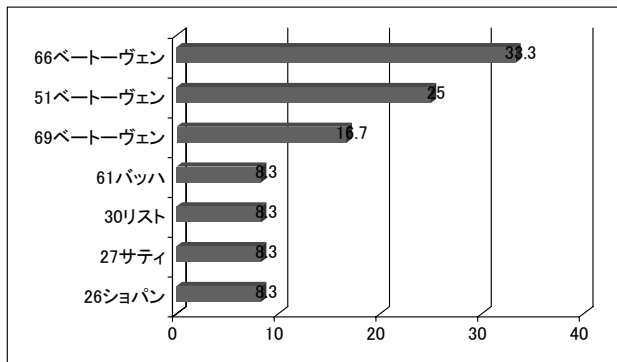


図6 男子学生の作曲者名認知度

女子学生の作曲者名認知度第1位は作品66のベートーヴェンであり、その数16名（44.4%）であった。第2位は作品51で、またもベートーヴェンであり、その数12名（33.3%）であった。第3位もベートーヴェンであり、その数5名（13.9%）であった。第4位は作品10で、チャイコフスキーであり、その数3名（8.3%）であった。

第5位は作品76のヴィヴァルディあり、その数2。第6位は14作品あった。3のヘンデル、18のグリーグ、19のスメタナ、26のショパン、30のリスト、40のモーツァルト、52のシューマン、54のショパン、55のショパン、59のバッハ、93のベートーヴェン、94のベートーヴェン、97のブラームス、99のチャイコフスキーであり、各1名（2.8%）であった。

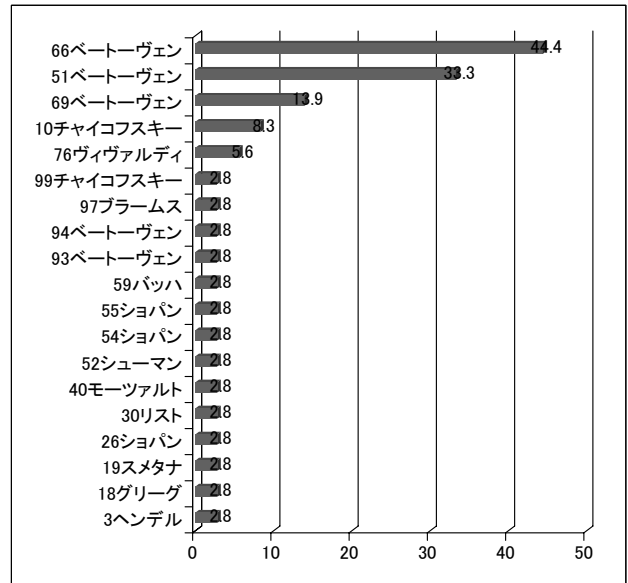


図7 女子学生の作曲者名認知度

この作曲者名認知度でも男子学生・女子学生とも際違った誤回答があった。それは36のバッハをベートーヴェンと間違えたことである。男子学生の誤回答は3名（25%）女子学生の誤回答は21名（58.3%）であった。

（3） “聴いたことがある” が80%を越えた楽曲

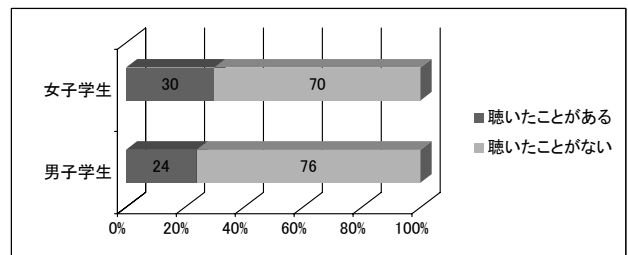


図8 “聴いたことがある” が80%を越えた楽曲

以下の楽曲である。（男子学生は男・女子学生は女で示した。□囲みをしているものは100%が「聴いたことがある」と回答したものである） 1)ルロイ・アンダー

ソン：トランペット吹きの休日…男<sup>男</sup>，3)ヘンデル：見よ勇者は帰る…男<sup>男</sup>，9)ハチャトゥリアン：剣の舞…男女，10)チャイコフスキー：「白鳥の湖」より情景…男<sup>男</sup>，12)チャイコフスキー：「くるみ割り人形」より花のワルツ…男女，14)ヨハン・シュトラウス I 世：ラデツキー行進曲…男<sup>男</sup>，15)ヴェルディ：アイダ大行進曲…男<sup>男</sup>，16)ラヴェル：ボレロ…男<sup>男</sup>，18)グリーグ：劇音楽「ペールギュント組曲」より朝…男<sup>男</sup>，19)スメタナ：交響詩「モルダウ」…女，21)ビゼー：「カルメン」組曲より闘牛士…男女，25)ショパン：プレリュード第7番…男<sup>男</sup>，26)ショパン：ノクターン第2番…男女，27)サティ：ジムノペディ第1番…女，29)バダルジェフスカ：乙女の祈り…男<sup>男</sup>，31)サラサーテ：チゴイネルワイゼン…男女，33)クライスラー：愛の喜び…男<sup>男</sup>，36)バッハ：トッカータとフーガ…男<sup>男</sup>，51)ベートーヴェン：エリーゼのために…男<sup>男</sup>，52)シューマン：トロイメライ…女，55)ショパン：ワルツ第6番「子犬のワルツ」…女，61)バッハ：G線上のアリア…男女，66)ベートーヴェン：交響曲第5番「運命」～第1楽章冒頭…男女，69)ベートーヴェン：交響曲第9番「合唱」～第4楽章「合唱」部分…男女，76)ヴィヴァルディ：ヴァイオリン協奏曲「四季」～「春」第1楽章冒頭…男女，82)チャイコフスキー：ピアノ協奏曲第1番～第1楽章冒頭…男女，87)ムソルグスキー：組曲「展覧会の絵」～プロムナード…男女，88)リヒャルト・シュトラウス：交響詩「ツァラトゥストラはかく語りき」…男女，93)ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ第8番「悲愴」～第2楽章冒頭…女，97)ブラームス：ハンガリー舞曲第5番…男<sup>男</sup>

#### (4) “聴きやすい”が80%を越えた楽曲

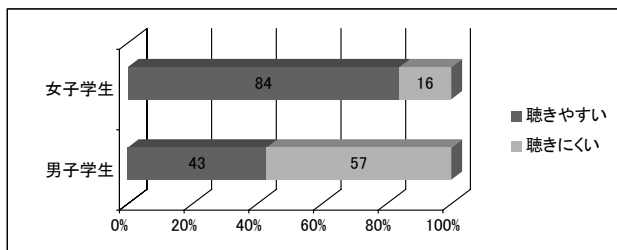


図9 “聴きやすい”が80%を越えた楽曲

以下の楽曲である。(男子学生は男・女子学生は女で示した。□囲みをしているものは100%が「聴きやすい」

と回答したものである)この項に関しては男女差が極めて顕著である。平成21年度入学の学生では、西洋クラシック楽曲の受容度は女子学生は男子学生のほぼ2倍である。

また、5回以上登場した作曲家はモーツァルト13回、ベートーヴェン10回、ショパン6回、5回が2人でバッハとチャイコフスキーであった。次にこの項の結果を示す。

1)ルロイ・アンダーソン：トランペット吹きの休日…男<sup>男</sup>，2)アイレンベルク：森の水車…男女，3)ヘンデル：見よ勇者は帰る…男<sup>男</sup>，5)ヘンデル：ラルゴ…男女，8)レハール：メリーウィドウ・ワルツ…男<sup>男</sup>，9)ハチャトゥリアン：剣の舞…男女，10)チャイコフスキー：「白鳥の湖」より情景…男女，11)チャイコフスキー：「眠りの森の美女」よりワルツ…男女，12)チャイコフスキー：「くるみ割り人形」より花のワルツ…男<sup>男</sup>，13)スーザ：星条旗よ永遠なれ…男女，14)ヨハン・シュトラウス I 世：ラデツキー行進曲…男<sup>男</sup>，15)ヴェルディ：アイダ大行進曲…男<sup>男</sup>，16)ラヴェル：ボレロ…男<sup>男</sup>，18)グリーグ：劇音楽「ペールギュント組曲」より朝…男女，19)スメタナ：交響詩「モルダウ」…女，20)ドヴォルザーク：スラブ舞曲第10番…女，21)ビゼー：「カルメン」組曲より闘牛士…男<sup>男</sup>，22)ビゼー：「アルルの女」組曲よりメヌエット…男女，23)プロコフィエフ：交響的物語「ピーターと狼」より…女，24)サン＝サーンス：組曲「動物の謝肉祭」より白鳥ヴィヴ…女，25)ショパン：プレリュード第7番…男<sup>男</sup>，26)ショパン：ノクターン第2番…男<sup>男</sup>，27)サティ：ジムノペディ第1番…女，28)ドビュッシー：アラベスク第1番…女，29)バダルジェフスカ：乙女の祈り…男女，30)リスト：ラ・カンパネラ…女，32)ベートーヴェン：ロマンス へ長調…女，33)クライスラー：愛の喜び…女，35)フォーレ：シチリアーノ…男女，37)タルレガ：アルハンブラ宮殿の思い出…女，38)ロドリゴ：「アランフェス協奏曲」より第2楽章〈アダージョ〉…女，40)モーツァルト：交響曲第36番「リンツ」～第1楽章…男女，41)モーツァルト：交響曲第38番「プラハ」～第1楽章…女，42)モーツァルト：交響曲第39番～第3楽章冒頭…男女，43)モーツァルト：ピアノ協奏曲第20番～第2楽章冒頭…男女，44)モーツァルト：ピアノ協奏曲第24番～第2楽章冒頭

…男女, 45) モーツァルト: ヴァイオリン協奏曲第5番「トルコ風」～第3楽章冒頭…男女, 46) モーツァルト: 協奏交響曲～第2楽章冒頭…女, 47) モーツァルト: 弦楽四重奏曲第17番「狩」～第1楽章冒頭…女, 49) モーツァルト: フルート四重奏曲第1番～第1楽章冒頭…男女, 51) ベートーヴェン: エリーゼのために…男女, 52) シューマン: トロイメライ…男<sup>○</sup>, 53) リスト: 愛の夢…男女, 54) ショパン: ワルツ第1番「華麗なる大円舞曲」…男<sup>○</sup>, 55) ショパン: ワルツ第6番「子犬のワルツ」…女, 56) ショパン: 即興曲第4番「幻想即興曲」…男<sup>○</sup>, 57) パデレフスキー: メヌエット…女, 58) バッハ: 2つのヴァイオリンのための協奏曲～第1楽章…男女, 59) バッハ: 二声のインヴェンション第1番…男女, 60) バッハ: パルティータ第1番…女, 61) バッハ: G線上のアリア…男<sup>○</sup>女, 62) ヘンデル: 「水上の音楽」第1組曲～アレグロ…女, 63) モーツァルト: 交響曲第40番～第1楽章冒頭…女, 64) モーツァルト: 交響曲第41番「ジュピター」～第1楽章冒頭…女, 65) ベートーヴェン: 交響曲第3番「英雄」～第1楽章冒頭…女, 66) ベートーヴェン: 交響曲第5番「運命」～第1楽章冒頭…女, 67) シューベルト: 交響曲第8番「未完成」～第1楽章…女, 68) ベートーヴェン: 交響曲第6番「田園」～第1楽章冒頭…男<sup>○</sup>, 69) ベートーヴェン: 交響曲第9番「合唱」～第4楽章「合唱」部分…女, 70) ベルリオーズ: 幻想交響曲～第2楽章「舞踏会」…女, 71) ブラームス: 交響曲第1番～第4楽章…女, 73) チャイコフスキー: 交響曲第6番「悲愴」～第1楽章…女, 76) ヴィヴァルディ: ヴァイオリン協奏曲「四季」～「春」第1楽章冒頭…女, 77) モーツァルト: ピアノ協奏曲第26番「戴冠式」…男女, 78) モーツァルト: ピアノ協奏曲第27番～第2楽章…女, 80) メンデスゾーン: ヴァイオリン協奏曲～第1楽章冒頭…女, 1) ルロイ・アンダーソン: トランペット吹きの日…女, 82) チャイコフスキー: ピアノ協奏曲第1番～第1楽章冒頭…女, 83) ラフマニノフ: ピアノ協奏曲第2番～第3楽章…女, 84) ショパン: ピアノ協奏曲第2番～第2楽章…男女, 85) ワグナー: ニュルンベルクのマイスタージンガー前奏曲…女, 86) ワグナー: タンホイザー序曲…男女, 87) ムソルグスキー: 組曲「展覧会の絵」～プロムナード…男女, 88) リヒャルト・シュトラウス: 交響詩「ツァラトゥストラはかく語りき」…女,

89) ホルスト: 組曲「惑星」～「木星」冒頭…男<sup>○</sup>, 91) ベートーヴェン: 弦楽四重奏曲第9番「ラズモフスキー第3番」～第1楽章…女, 92) バッハ: ゴールドベルグ変奏曲～アリア…男女, 93) ベートーヴェン: ピアノ・ソナタ第8番「悲愴」～第2楽章冒頭…男<sup>○</sup>女, 94) ベートーヴェン: ピアノ・ソナタ第14番「月光」～第1楽章冒頭…女, 95) ベートーヴェン: ピアノ・ソナタ第23番「情熱」～第1楽章冒頭…女, 96) ヴォーン=ウィリアムス: グリーンズリーヴス幻想曲…女, 97) ブラームス: ハンガリー舞曲第5番…女, 98) ドリーヴ: 「コッペリア」よりスワニルダのワルツ…男女, 100) ワグナー: ワルキューレの騎行…女。

#### 4. 学生の楽曲鑑賞について

平成20年度子ども学部入学前期芸術履修生に対して行った講義(楽曲鑑賞)の内容は西洋音楽, 東洋音楽, 日本音楽(伝統邦楽)であった。本研究では西洋音楽に関する楽曲受容調査を行った関係からここでは, 西洋音楽を学生がどのように鑑賞したかについて分析した。

##### (1) 初めて「運命」全楽章を視聴してのコメント

2008. 5. 13の講義(楽曲鑑賞)ではベートーヴェンの交響曲第5番ハ短調「運命」を取り上げた。朝比奈隆指揮大阪フィルハーモニー交響楽団(演奏時間: 38分14秒)の演奏をDVDにより試聴した。この程度の演奏時間で終わってしまう交響曲であるのだが, 相当数の学生はどうやらこの時間に初めて全楽章の視聴であったようだ。以下に初めて視聴したと思われる学生のコメントを記した。

◎ベートーヴェンの交響曲第5番ハ短調「運命」はとても有名な曲であるが, 最後までは本当に聞き覚えがなかった。全体的に結構騒がしい曲だけれども, ホルンが入っているところはとても静かでよかった。この曲はとても迫力があってすごい曲だ。ファゴットとクラリネットがとても穏やかなメロディが流れていたと思う。第1楽章と聴き比べてはるかに違う雰囲気を放っている曲だと感じた。ベートーヴェンが作曲した曲とは思えないくらい曲が流れていてとても綺麗だったように感じた。(女子学生)

- ◎ベートーヴェンの交響曲第5番ハ短調「運命」は音の強弱で、曲の雰囲気に変化を出しているすごいと思った。音のメリハリもあり、曲の中に入っていきそうな迫力や繊細さがあった。主題再現部では、とても迫力があり、壮大な響きだった。第2・3・4楽章は初めて聴いた。第1楽章とは全く違った雰囲気に驚いた。コーダの演奏の仕方が独特で好きです。(女子学生)
- ◎ベートーヴェンの交響曲第5番ハ短調「運命」はすごく強弱のついている曲だと思った。フォルティッシモぐらい大きい音を出している一つ一つの音がはっきりしていてすごいと思う。クレセンドやデクレシェンドのタイミングがそろっているし、音の長さも人数が多くても皆同じなのでさすがだなと思った。第3楽章の終わりから第4楽章へのクレシェンドの盛り上がり、そこからの壮大な音の響きに感動した。演奏者は楽譜と指揮者の表情や動きから読み取って音楽を表現していてすごいと思った。楽章によって曲の雰囲気が違うので別々の曲に思えたけど、最後まで聴いたら一つのまとまった曲に聴こえたのですごかった。(女子学生)
- ◎ベートーヴェンの交響曲第5番ハ短調「運命」はとても有名で誰でも知っている曲だけれども、主題提示部しか聴いたことがなかった。第2楽章のアンダンテは1楽章と違ってゆったりとした曲。主題②のクラリネットの音色が綺麗だ。強弱がはっきりとしている。第4楽章に入る前がかっこいい。主題再現部は、ヴァイオリンや弦楽器が活躍している。(女子学生)
- ◎ベートーヴェンの交響曲第5番ハ短調「運命」は音の強弱がはっきりしていた。この曲はこれまではじめの部分しか聴いたことがなかった。初めて全楽章聴いて長いなと感じた。だが、最初の部分だけ聴いたことのある馴染みのある曲であったので聴きやすかった。(女子学生)
- ◎ベートーヴェンの交響曲第5番ハ短調「運命」は何回も最初の部分だけは聴いていた。しかし、聴いたこともない部分までも聴いたときには少しばかり感動した。「運命」という曲には何か奥に深いものが隠されているように感じた。(女子学生)
- ◎ベートーヴェンの交響曲第5番ハ短調「運命」は一部分のみ何回も聴いたことがあった。しかし、今日は聴

いたことがなかった部分もいくらか出てきて少し感動した。「運命」という曲には何か奥の深いものが隠されているように感じた。初めて聴いた部分もメインの部分と同じように引きつけるものがあったと思う。曲の中の一つ一つの部分が感情のように激しくなったり、静かになったりして、楽曲理解がよくできた。曲の強弱の付け方がとてもすごく聴きやすい。この曲を聴いていると情景が頭に浮かびやすい。曲の一つ一つの部分にそれぞれ個性があるように感じた。(女子学生)

◎ベートーヴェンの交響曲第5番ハ短調「運命」は今まで冒頭部分しか聴いたことがなかった。しかし、今日あとの部分も含めて全部聴いた。初めて聴いた部分は穏やかと迫力両面があった。展開部は違う楽器がリードしていて、「ああ、こうした部分もあるんだ」と納得した。(女子学生)

◎曲の冒頭は有名であるので知っていた。とても耳に残りやすく、そして悲しげで、どこか明るい曲だった。途中から滑らかになるところがあった。そこはつられて踊りそうになるくらいで、聴いていて楽しくなった。第2楽章は何だか心が安らぐような楽曲であった。ディズニーで使われているような音楽であった。個人的には第2楽章が好きだ。頭の中で音の世界が想像できるし、何より落ち着く。この楽曲は、部分的にせよ知っているので鑑賞曲としてよいと思った。(男子学生)

以上のように女子学生8名、男子学生1名のコメント(感じたこと、感動したこと、思ったこと)である。コメント数にしても断然、女子学生の方が男子学生に勝る。

## (2) 指揮者比較視聴してのコメント

朝比奈隆指揮大阪フィルハーモニー交響楽団の第1楽章(演奏時間8分41秒)とシャルル・デュトワ指揮NHK交響楽団の第1楽章(7分28秒)とを比較視聴しての学生のコメントは次である

◎「運命」でも指揮者が違うと曲の感じが何か違った。多分テンポや強弱の付け方が違うからだ。同じ楽曲なのによく聴いたら違う雰囲気だったので驚いた。(女子学生)

◎指揮者が演奏者に的確な指示を出していた。それに演奏



- 者がよく応えて演奏が成立するのだと改めて感じた。パートごとに的確且つ繊細な指示を出していて、指揮者は極めて重要な存在だと感じた。会場が一瞬で静まりかえるような迫力感ある演奏だった。(女子学生)
- ◎指揮者が替わることでリズムや盛り上げ方が違ってくる。従って、雰囲気はかなり変わる。シャルル・デュトワはテンポが速く、最後に向けだんだんと音が高まり、一気に終わったので緊張感があった。(女子学生)
- ◎シャルル・デュトワはテンポが速い。私はシャルル・デュトワの「運命」の方がいいと思った。(女子学生)
- ◎指揮者によって曲の表現の仕方が違っていた。シャルル・デュトワと朝比奈隆は例えていえば情熱的と冷静だった。指揮者によって曲の感じは変わるのだと思った。演奏者にはよくわかることも私にはまだよくわからない。指揮者だけを見ておくのもまた違ったものが見えてきそうだと思う。オーケストラの生演奏を聴いてみたいと思った。きっと私が普段聴いているのと違った雰囲気で聴こえると思う。きっと曲にのめり込むと思う。(女子学生)
- ◎シャルル・デュトワの「運命」は速かった。テンポの速い「運命」はあっさり聴けた。(女子学生)
- ◎シャルル・デュトワの「運命」は力強く、テンポも速かった。強弱の付け方がうまかった。キレがあった。ヴァイオリンの音が綺麗だった。一度に沢山の楽器の音が組み合わされ、ボリュームは増すものの、音は明快にスラスラ聴こえてきた。(女子学生)
- ◎朝比奈隆はゆったりテンポだった。あまり迫力のある演奏ではないように思える。シャルル・デュトワの方が迫力があった。(女子学生)
- ◎指揮者が替わると曲の雰囲気が変わる。テンポや強弱などが違ってくる。シャルル・デュトワは朝比奈隆とは違う。逆もまたそうだ。朝比奈隆とシャルル・デュトワは指揮の仕方、棒の振り方が違う。同じ曲なのに指揮者が替わるとまた別の雰囲気を感じる。(女子学生)
- ◎指揮者が替わると曲の雰囲気が変わる。個人的にはシャルル・デュトワがよい。合図が力強いからだ。(女子学生)
- ◎シャルル・デュトワの「運命」の方が速くてキレがあるような気がした。指揮者によって曲の雰囲気が変わることに感動した。
- ◎シャルル・デュトワは刻んでいる感じがあって、わかりやすいと思った。指揮者によって同じ曲でも違って響く。(女子学生)
- ◎小さい音から会場中にまで聞こえる大きな音まで出た曲であった。最後の方になると感動が高まってきて、熱狂的であり、大きさを感じる。華麗で雄大さもある曲だ。同じ曲でも指揮者により違ってくる。(女子学生)
- ◎同じ曲でも指揮者により全く違ってきこえる。(女子学生)
- ◎同じベートーヴェンの「運命」でも指揮者が替わるだけでイメージが変わることに驚いた。シャルル・デュトワの「運命」は力強く、恐怖感すら覚える。(女子学生)
- ◎やはりシャルル・デュトワの「運命」は迫力があった。(女子学生)
- ◎曲は同じでも指揮者や演奏者が替わると演奏の雰囲気は違う。ソロにしてもビブラートのかけ方でイメージが変わる。大フィルの演奏はゆっくりしていた。ホルン・クラリネットは固く吹くなと思った。フルートは木製を使っていた。ソロ奏者は相当の技術を要すると思う。(女子学生)
- ◎シャルル・デュトワの指揮ぶりは大きく、表情もよく変化し、身体全体で指揮していることから、朝比奈隆よりリズムカルで、曲に入りやすかった。私は以前は指揮者は自分の思うように棒を振るだけだと思っていたが、シャルル・デュトワを見ているとリズムや抑揚、オーケストラへの指示を一人で背負っているのだとよく感じた。指揮者によって曲の雰囲気が全く違うので驚いた。(女子学生)
- ◎シャルル・デュトワは朝比奈隆と違っていたのでびっくりした。同じ曲でも指揮者が違うと音楽が変わってくる。それが個性なんだなと思った。目をつり上げる場面がまたよかった。とにかくベートーヴェンの交響曲第5番ハ短調「運命」は少しだが知っている曲なので面白かったし、愉快だった。次は「第九」を聴きたい。(男子学生)
- このように、指揮者の違いに言及してコメントを書いているのは女子学生が18名であったのに対して男子学生は1名であった。女子学生は50%の人がコメントしてい

るのに対して男子学生はわずか8.3%しかコメントできていない。

## 5. 今後の課題

大学レベルでの楽曲鑑賞では、学生に適切な楽曲を準備することで効果が上がるということは理解できる。しかし、ベートーヴェンの交響曲第5番ハ短調「運命」を視聴させた時点で、全楽章聴くのは大学でのこの時間が初めてであるというコメントが多く出てくることに疑問を感じる。実はこの楽曲は中学校2年生の鑑賞教材として学習指導要領に掲載されている。

小学校学習指導要領音楽科<sup>6)</sup>と中学校学習指導要領音楽科<sup>7)</sup>が取り上げている鑑賞教材は小学校・中学校の音楽科学習の中で一体どれくらい(の時間)取り扱われているのか調査する必要があると思う。

表3 小学校学習指導要領音楽科鑑賞教材

〔第1学年〕

「アメリカン・パトロール」F. W. ミーチャム作曲,  
「おどる子ねこ」L. アンダーソン作曲, 「おもちゃ  
の兵隊」L. イェッセル作曲, 「ガボット」F. J. ゴ  
セック作曲, 「森のかじや」T. ミヒャエリス作曲

〔第2学年〕

「おどる人形」E. ポルディーニ作曲, 「かじやのポ  
ルカ」J. O. S. シュトラウス作曲, 「かっこうワ  
ルツ」J. E. ヨナッソン作曲, 「出発」(組曲「冬  
のかがり火」から) S. S. プロコフィエフ作曲, 「ト  
ルコ行進曲」L. v. ベートーヴェン作曲, 「メヌエッ  
ト」(歌劇「アルチーナ」から) G. F. ヘンデル作曲,  
「ユーモレスク」A. ドボルザーク作曲

〔第3学年〕

「おもちゃのシンフォニー」J. ハイドン作曲, 「金  
婚式」G. マリー作曲, 「金と銀」F. レハール作曲,  
歌劇「軽騎士」序曲F. v. スッペ作曲, 「メヌエツト」  
(組曲「アルルの女」より) G. ビゼー作曲, 「メヌエツ  
ト」ト長調L. v. ベートーヴェン作曲, 「ポロネーズ」  
(管弦楽組曲第2番から) J. S. バッハ作曲

〔第4学年〕

「ガボット」J. P. ラモー作曲, 「軍隊行進曲」  
F. シューベルト作曲, 「スケーターズワルツ」E. ワ  
ルトトイフェル作曲, 「ノルウェー舞曲」第2番イ  
長調E. H. グリーグ作曲, 「白鳥」C. サン・サー  
ンス作曲, ホルン協奏曲第1番ニ長調第1楽章  
W. A. モーツァルト作曲

〔第5学年〕

歌劇「ウィリアム・テル」序曲G. ロッソーニ作曲,  
「管弦楽のための木挽歌」小山清茂作曲, 組曲「くる  
み割り人形」P. I. チャイコフスキー作曲, 「荒  
城の月」「箱根八里」「花」のうち1曲, 滝廉太郎作曲,  
「タンホイザー行進曲(合唱の部分を含む)」R. ワー  
グナー作曲, ピアノ五重奏「ます」第4楽章F. シュー  
ベルト作曲

〔第6学年〕

「赤とんぼ」「この道」「待ちぼうけ」のうち1曲山  
田耕筰作曲, 第9交響曲から合唱の部分L. v. ベー  
トーヴェン作曲, 組曲「道化師」D. カバレフスキー,  
「春の海」宮城道雄作曲, 組曲「ペール・ギュント」E.  
H. グリーグ作曲, 「流浪の民」R. シューマン作曲,  
「六段」八橋検校作曲

表4 中学校学習指導要領音楽科鑑賞教材

「アイダ」から第2幕第2場ヴェルディ作曲, 弦  
楽四重奏曲へ長調作品96「アメリカ」ドボルザーク  
作曲, 「アランフェス協奏曲」ロドリゴ作曲, 「あ  
る晴れた日に」(歌劇「おちょう夫人」から) プッ  
チーニ作曲, 「アルルの女」組曲第1番, 第2番ビ  
ゼー作曲, 「今様」日本古謡, ヴァイオリン協奏曲ホ  
短調メンデルスゾーン作曲, 「江差追分」日本民謡,  
「越後獅子」(長唄) 杵屋六左衛門作曲, 雅楽「越天楽」  
日本古曲, 舞踊組曲「ガイーヌ」ハチャトゥリヤン  
作曲, 「かりうどの合唱」(歌劇「魔弾の射手」から)  
ウェーバー作曲, 「管弦楽のための木挽歌」小山清  
茂作曲, 長唄「勸進帳」四世杵屋六三郎作曲, 「木遣  
の段」鶴沢重次郎作曲, 組曲第2番ロ短調バッハ作  
曲, 交響曲第5番ハ短調作品67ベートーヴェン作曲,  
交響曲第6番へ長調作品68(「田園」)ベートーヴェ

ン作曲, 弦楽四重奏曲ハ長調「皇帝」から第2楽章  
 ハイドン作曲, 長唄「小鍛冶」杵屋勝五郎作曲, 箏  
 曲「五段砧」光崎検校作曲, 「子どもの領分」ドビュッ  
 シー作曲, 尺八曲「鹿の遠音」作曲者不詳, 三曲合  
 奏「四季の眺め」松浦検校原作, 小フーガト短調バッ  
 ハ作曲, 「青少年の管弦楽入門」ブリテン作曲, 「チ  
 ゴイネルワイゼン」サラサーテ作曲, 交響詩「中央  
 アジアの草原にて」ボロディン作曲, 「月の光」(「ベ  
 ルガマスク組曲」から)ドビュッシー作曲, 組曲「動  
 物の謝肉祭」サン・サーンス作曲, 「ノヴェンバー  
 ステップス」第1番武満徹作曲, 交響詩「はげ山の  
 一夜」ムソルグスキー作曲, 「春」

(「和声と創意の試み」第1集「四季」から) ヴィ  
 ヴァルディ作曲, 「春の海」宮城道雄作曲, ピアノ  
 協奏曲イ短調作品16グリーグ作曲, ピアノソナタイ  
 長調K. 331(「トルコ行進曲付き」)モーツァルト作  
 曲, 「ボレロ」ラヴェル作曲, 「魔王」シューベルト  
 作曲, 「水の戯れ」ラヴェル作曲, 「モルダウ(ブル  
 タバ)」スメタナ作曲, 「山道を行く」(組曲「大峡谷」  
 から)グローフェ作曲, 箏曲「六段の調」八橋検校  
 作曲

楽曲を聴くという行為は聴覚障害のある人を除けば誰  
 にでもできることである。楽曲が有する情報は人の心を  
 癒したり、勇気づけたりすることができる。特にクラシッ  
 ク楽曲の中には洋の東西を訪わず人の心に深く作用する  
 ものが多い。

田中多聞はその著<sup>8)</sup>の中で次のように述べている。

「仕事がかどらない」「やる気はあってもなぜか気分  
 が乗らない」こんな時、私はラフマニノフのピアノ・コ  
 ンチェルトをかけます。第2番ハ短調です。第3楽章の  
 第2主題は、とくに叙情的で、美しい旋律です。

ラフマニノフは、交響曲第1番が不評だったので(1897  
 年3月初演)、すっかり自信をなくし、作曲する意欲を  
 失いました。当時の記録によりますと、ノイローゼらし  
 く、2年間も苦しんでいました。

その彼を救ったのがニコライ・ダール博士(精神科医)  
 です。博士は毎日のように、ベッドに横たわるラフマニ  
 ノフに「あなたはきっと治ります。そして、すばらしい  
 名曲を完成させます」と力づけたそうです。その結果、

彼は見事に立ち直り、名曲「ピアノコンチェルト第2番」  
 を作曲しました。1901年10月、彼自身のピアノで初演さ  
 れ、大成功でした。ラフマニノフはこの曲をダール博士  
 に捧げました。

小学校時代から音楽の授業における楽曲鑑賞が充実し  
 ていれば成人の芸術音楽を愛好する人は現在より相当数  
 多くなると思われる。

## 注

- 1) 小学校学習指導要領解説 音楽編 文部省 教育芸  
術社 (1999) p.8
- 2) 中学校学習指導要領解説 音楽編 文部省 教育芸  
術社 (1999) p.6
- 3) 現代人と音楽 NHK放送世論調査所編 日本放送  
出版協会 (1982) p.68
- 4) 岡山市立H小学校アンケート「教科の好き具合」  
6年生 男子児童 27名 女子児童 19名 (2002)
- 5) 1987 CBS & CBS/Sony Inc. (Tokyo Japan)
- 6) 小学校学習指導要領解説 音楽編 文部省 教育芸  
術社 (1999) pp.117-118
- 7) 中学校学習指導要領解説 音楽編 文部省 教育芸  
術社 (1999) pp.114-115
- 8) 自分でできる音楽療法 人間と歴史社 (1983) p.9

